

学校通信

No. 20 令和3年11月8日（月）鈴鹿市立白子小学校

学習ボランティアの再開 ～5年家庭科「エプロンづくり」～

1学期は、裁縫の基本的なこと（玉結び・玉止め・なみ縫い等）を練習してきました。2学期は、実際に「エプロンづくり」に挑戦します。10月28日は、2名の学習支援ボランティアの方に来ていただき、「アイロンで三つ折り→まち針でとめる→しつけをする」作業の支援をしていただきました。子どもたちの様子を見守り、まち針のさし方が違っていたり、うまく玉結びができなかったりしている子どもがいたり、声をかけていただき、子どもたちも安心して取り組むことができました。ありがとうございました。



◆6年生 出張！スポーツ出前授業「馬術体験」（10月28日）

鈴鹿市国体推進課によるスポーツ出前授業として、6年生が馬術体験を行いました。当日は、馬運車に乗せられて、3頭の馬が白子小学校にやってきました。

1限目は学年全体で鈴鹿市馬術協会の方のお話を聞きました。馬のしぐさから馬の気持ち分かること、一年365日欠かすことなく、食事・排せつ、体を洗う等の世話や体温測定等による体調管理に気を配っていることについて教えていただき、命あるいきものへの思いやりやコミュニケーションの大切さを学びました。

2～4限目は運動場でクラスごとに乗馬体験やえさやり体験をしました。馬の背中に乗ると、思った以上に高さを感じたようです。名残惜しそうにいつまでも馬の体を撫でている子もいました。日常を忘れ、馬との楽しいふれあいの時間となりました。



◆1年生 生活科「秋見つけ」～木の実・落ち葉を採りにいったよ～（11月2日）

生活科「秋見つけ」では、「身近な自然との触れ合いを通して、自分たちの遊びや生活を工夫したり、楽しんだりすることができる」ことを目標に学習に取り組みます。



この日は、サンスポーツランドへ、どんぐりや色とりどりの落ち葉を採りに出かけました。今後、こういったものを使って、けん玉・リース等を創ります。身近な自然にあるものを利用して様々な物を創る面白さや自然の不思議さに気づくとともに、みんなで遊びを創り出そうとする楽しさを感じることができればと考えています。

家庭・地域向け啓発資料

4月と11月は

「いじめ防止強化月間」です



連絡

学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に協力し合いながら、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むという気運を高めるとともに、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応をめざした取組を推進します。

いじめって何？

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

「いじめ防止対策推進法」より
(平成25年9月28日施行)

具体的には・・・

- ◆ 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる
- ◆ 仲間はずれ、集団による無視をされる
- ◆ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
- ◆ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- ◆ 金品をたかられる
- ◆ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ◆ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる 等

保護者のみなさんへ

家族全員でいじめが人権侵害であることを理解するとともに、日頃から大人が規範を示しましょう。

- 子どもの自尊感情を高める言葉をかけましょう
- 子どもの規範意識を養うため、自らの言動が見本となるよう心がけましょう
- 子どもが発するサインをキャッチしましょう
- 子どもが助けを求めやすい環境を作りましょう
- いじめの防止、発見、措置に学校等と連携し、協力しましょう
- 親子で共感できる活動をししましょう
- 家族そろって地域活動に参加しましょう



地域のみなさんへ

いじめ問題の理解を深め、地域の子どもの守り育てていきましょう。

- 日常的に子どもたちを見守りましょう
- 地域行事等を通して子どもたちと交流を深めましょう
- いじめやいじめかなと思うことを見かけたら、学校又は関係機関（教育委員会）等へご連絡ください
- 異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ環境づくりをしましょう
- 学校やPTAと連携していじめ問題に取り組みましょう



三重県いじめ防止条例では、保護者の責務（第8条）、県民及び事業者の役割（第9条）に上記の責務や役割を示していますので、ご協力をお願いします。

インターネットや携帯（スマートフォン等）を通したいじめやトラブルを防ぐために

【青少年インターネット環境整備法から要約】

保護者の責務 保護者はネット上には有害情報が氾濫していることを認識して、子どものネット利用のルールを決めるなど、しっかり見守る努力をする責務があります。

保護者の義務 子どもの携帯電話を購入する際には、携帯電話会社に「使用者が子どもであること」を申し出る義務があります。

事業者の義務 子どもが利用する携帯電話に、フィルタリングを提供する義務があります。フィルタリングを解除するには、保護者（親権者）の同意が必要です。

